

科目名		物理療法学実習			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科2年		後期	必修・選択 必修

〔授業の目的・ねらい〕

物理療法機器を実際に用い、各種物理療法を実施するための準備、パラメータの設定から実際の治療にいたるまでの手順を学ぶ。また、実際の疾患を想定して適切な物理療法の選択、パラメータの設定などを学ぶ。

〔授業全体の内容の概要〕

物理療法学で学んだ基本的知識を実践するために、演習やグループディスカッションを中心とした授業を行う。

〔講師の実務経験〕

岡波総合病院、上山病院、けいはん医療生協、昭和病院、日本健康機構株式会社にて、理学療法士として16年間勤務

〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

- ①物理療法機器を安全に扱うことができる。
- ②疾患に応じて、適切な物理療法の種類、パラメータの設定などを考えることができる。

回数	講義内容
1	オリエンテーション
2	オリエンテーション
3	ホットパック
4	ホットパック
5	パラフィン
6	パラフィン
7	赤外線
8	赤外線
9	マイクロウェーブ
10	マイクロウェーブ
11	レーザー・(紫外線)
12	レーザー・(紫外線)
13	アイスパック
14	アイスパック
15	過流浴・交代浴
16	過流浴・交代浴
17	超音波
18	超音波
19	TENS(FES)
20	TENS(FES)
21	干渉波
22	干渉波
23	牽引
	定期筆記試験

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
物理療法学	松澤正	金原出版

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

筆記試験にて評価する。